

すずかけ台1丁目防災マップ

記号	名称
	避難経路
	消火栓
	防火水槽 (数字は容量を示す)
	水道
	AED設置施設
	車椅子通行不可
	危険箇所
	防災倉庫
	公衆電話
	トイレ
	緊急避難場所

緊急連絡先
三田市災害対策本部 (市役所)
TEL 563-1111
消防署 (火災・救急)
TEL 119

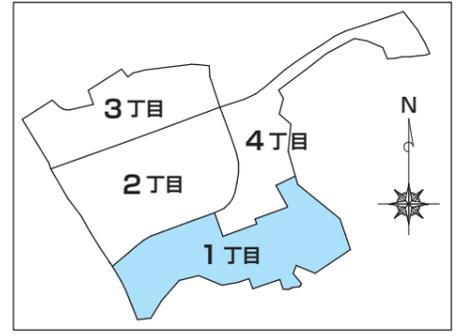
AED
 (すずかけ台小学校)



市指定避難所
 市立すずかけ台小学校

☆地震が起こったら (三田市HP)

- ①まず、身の安全を!
- ②あわてず火の始末を! (揺れている途中で火を消そうとするとかえって危険)
- ③出口の確保と落ち着いた行動を!
- ④火が出たら、すばやく消火!
- ⑤山崩れ、がけ崩れに注意!
- ⑥狭い道や塀、川べりは避ける!
- ⑦荷物は最小限に、避難は徒歩で!
- ⑧正確な情報をキャッチする!
- ⑨皆が協力し、応急救護を!



自治会避難場所
 すずかけ台公園

災害用伝言ダイヤル

大災害発生時は電話利用が殺到し、電話がつながりにくい状況になることがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開通され、被災地やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

伝言を登録する
 [171]にダイヤル ▶ [1] ▶ (市外局番)000-■■■■

伝言を聞く
 [171]にダイヤル ▶ [2] ▶ (市外局番)000-■■■■

※各携帯電話会社の災害用伝言板もあります。



我が家の緊急避難場所

我が家の避難のタイミング

緊急連絡先

連絡先	電話番号

緊急避難場所
 ギンنانの丘公園



避難の方法

避難所へ避難する場合

- 1 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 2 川沿いや橋、げげ下などは危険ですので、近くを通らないでください。
- 3 動きやすい服装で、二人以上で避難しましょう。
- 4 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れず、電気のブレーカーも落としましょう。

屋内で避難する場合

- 水害の場合: 周りで浸水が始まった時は近く家の中で2階以上に避難しましょう。
- 土砂災害の場合: 家の外で土砂のかけ、山から離れた部屋に避難する、または寝室とする。

ポイント
 避難、浸水が始まった時の避難は、足元が見えず危険

平成21年台風9号の際に激しい降雨と浸水の中での避難中の被災事例から、状況に応じて、小・中学校等の避難所への避難だけでなく、屋内での垂直避難も有効であります。

落ちついて火の元確認 初期消火

- ・火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。
- ・火が出た時は、落ちついて消火する。

あわてた行動のけがのもと

- ・屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- ・瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。

避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

■非常持ち出し品 (避難する時に持ち出すもの)

- メカネ、補聴器、入れ歯、普段飲んでいる薬
- 懐中電灯、携帯ラジオ
- 現金 (小銭が貴重)、貴重品
- ヘルメット・防災頭巾、運動靴、軍手
- 予備の電池、携帯充電器

■備蓄品 (避難生活に備えて家などに蓄えておくもの)
 3日以上の備蓄は必要!

- 飲料水: 1人1日3リットル分の水は飲料用に必要であると言われていいます。
- 食料: 乾パンやクラッカー、缶詰 (保存期間が長く、火を過ぎなくても食べられるもの)、レトルト食品、ナイフ、缶切り、粉ミルク・ほ乳びん (赤ちゃんがいる場合)

